

POINT
02

昔と今の除雪風景の違い

○今は車社会になったことで家周りのアスファルトの露出面が多くなった
⇒屋根から落ちたら大怪我しやすい

○高齢化、過疎化により、高齢者が単独で除雪作業する場面が増加
⇒落下した時に救助してくれる人がいない

POINT
03

命綱ってなに？

この3点が揃ってはじめて命綱

- ①安全帯
ロープと安全帯を結ぶカラビナがあると便利
- ②ロープ
屋根から落ちない長さに調整にすることが重要8mm以上の太さがあると安心(ナイロンロープは危険)
- ③アンカー
屋根の形状等により、設置できるアンカーの種類や設置位置も異なるため、工務店等にご確認ください



特集 安全に除雪活動をすすめるために

令和4年1月から労働安全衛生法施行令の厳格化により、業者が屋根雪除雪を行う際、安全帯(墜落制止用器具)の着用等が義務化される中で、当会では11月20日に地域の除雪ボランティアを対象として、安全に除雪活動をすすめるための講習会を開催しました。

＼屋根雪除雪をされる皆さんへ／

毎年、県内でも除雪中の事故が相次いでいます。複数人で、無理なく除雪作業をすすめていただきますよう、お願いいたします。
なお、現在、社協栃尾支所も参加している「命綱アンカー普及推進協議会」について、今後、アンカーの体験会や実技講習会が行われる際は、当会HPの栃尾支所のページ等でお知らせをしていきますので、ぜひご覧ください。



【栃尾支所のページ】

皆さんもアンカー取り付けについて考えてみませんか？



POINT
01

除雪中の事故の種類

除雪作業中の事故のうち、4分の3が高所(屋根、はしご等)からの転落事故



11月20日(土)、除雪ボランティア活動講習会が、老人福祉センター皆楽荘で開催されました。
参加者は、栃尾地区社会福祉協議会のしんせつ除雪隊として、要援護世帯等の雪下ろしを行っているボランティア15名。
講師の長岡技術科学大学の土村靖司教授から前半は講義形式で、後半は実技形式でロープの結び方や安全帯の装着方法、アンカーへの命綱の取り付け方を学びました。
今月号では、講習会の内容の一部をピックアップして、皆さんにご紹介いたします。